

棚橋科学技術政策担当大臣つくばセンター来訪

2004年10月8日、棚橋科学技術政策担当大臣が研究機関視察のためつくばを来訪され、産総研他3カ所の研究機関を視察されました。

理事長による歓迎の挨拶後、吉海理事から産総研の概要が紹介されました。



その後、産総研の研究現場として、ステレオ映像の処理によってヒトの動きを認識し、ジェスチャによる家電制御などに応用する「ユビキタスステレオビジョン」と

電子のスピンを利用することにより超低消費電力で高い集積性を持つ磁性不揮発メモリを開発する「スピントロニクス (MRAM)」について視察されました。

知能システム研究部門 研究成果展示会 オープンハウス 2004 報告

2004年10月13日、つくば中央第二事業所、つくば東事業所にて、25件の研究成果発表を行いました。この展示会は、企業・大学関係者の皆様に産総研の研究成果を研究現場で直接ご覧いただき、当部門との連携をご検討い



ただき易いように毎年行っているもので、今年で4回目です。今回は直前に台風があり、午前中は雨模様でしたが、遠くは九州から多くの企業・大学および科学・産業行政機関や福祉施設関係者などのご参加がありました。

ホームページでは、出展テーマの説明以外に、出展者のインタビュー記事を掲載し、今回の発表展示の特徴、研究の面白み、今まで関わった研究領域なども紹介しています。多くの出展が実演を行い、またはビデオなどで紹介し、これだけのデモ出展を一同にご覧になれる機会は年に1度です。次回のオープンハウスのご案内をご希望の方は、下記にご連絡ください。

お問い合わせ先 TEL : 029-861-5201、E-mail : is-oh2004@ma.ist.go.jp
URL : <http://www.is.ist.go.jp/oh2004/>

地質情報展 2004 ちば「海から生まれた大地」開催

2004年9月18日～20日、産総研地質調査総合センターと日本地質学会が主催する地質情報展が、千葉県立中央博物館（千葉市）で開催されました。

千葉地域の地質として海岸段丘やタービダイトの話、房総半島沖の海底地質、関東ローム層、活断層、山砂利や天然ガスなどの天然資源、地質調査総合センターの取り組みなどの研究成果の展示のほか、地質標本館の珍しい鉱石や化石を展示、来場者が持ち込んだ岩石の鑑定、などのコーナーを展開しました。

また、子供たちが遊びながら学ぶことで、科学への興味を引き出そうと企画されている体験コーナーでは、各地から集めた色々な石を割ったり、アンモナイト化石のレプリカ作成、ペットボトルを使った液状化現象、地形の立体視などを展開しました。

1,600名を超える来場者数は、3日間開催しているこ

数年の地質情報展では最も多いものとなりました。来場者の多くは、身近な地質情報の多さに驚き、対応する研究者の説明に聞き入っていました。開場でお願いしたアンケートにも、様々な意見をいただきました。このイベントの様子は次のウェブページで詳しくご覧になれます。

(<http://www.gsj.jp/Info/event/2004/johoten/index.html>)

